まちのうごき
面積 7.67㎢
（9月1日現在）
世帯数 17.748世帯
人口 53.190人
男 26.160人
女 27.030人
（8月中）
生まれた人 54人
亡くなった人 27人
転入した人 239人
転出した人 174人

広報向日市
No.511
平成3年(1991年)10月1日
◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

平成2年度 決算総額は186億円

活力と潤いのあるふるさとづくり

平成二年度の一般会計、特別会計の決算が、九月定例市議会で認定されました。

21世紀に向け、活力と潤いのある福祉と教育・文化の香り高いまちづくりをめざしたもので、決算総額は、一般会計、特別会計を合わせて、百八十五億九千九百七十万八千円となりました。

一般会計

平成二年度一般会計の決算額は、歳入百二十億六百二十二万一千円（前年度比八億七千三百二十七万円、七・八パーセントの増）、歳出百十七億七千二百九十五万五千円（前年度比七億三千四百一万八千円、六・六パーセントの増）となりました。

決算収支は、二億三千三百二十六万六千円の黒字となりました。このうち翌年度へ繰越すべき財源一億六千百二十二万五千円を差し引いた実質収支においても七千二百四万一千円の黒字になっています。

特別会計

国保会計

決算額は、歳入十九億五千九百九十五万一千円、歳出二十億九千四百二十一万五千円で、一億三千四百二十六万四千円の不足となりましたが、単年度では、一億四千百七十四万七千円の黒字になっています。

老人保健医療会計

決算額は、歳入二十三億七千九百三十五万六千円、歳出二十三億七千九百三十五万一千円となりました。

下水道会計

決算額は、歳入二十三億二千九百七十万二千円、歳出二十三億二千六百二十八万七千円となりました。

大字寺戸財産区会計

決算額は、歳入一千三百六万八千円、歳出一千百六十一万一千円となりました。

物集女財産区会計

決算額は、歳入一千六百八万三千円、歳出一千五百二十八万九千円となりました。

水道会計

決算額は、収益的収支の事業収益で十一億四千九百五十三万二千円、事業費用は十億七千七百二十六万八千円となりました。資本的収支の収入は三億六千八十七万八千円支出は、五億七千六百十五万五千円となりました

福祉と教育・文化の香り高いまちづくり

民秋市長

私は、市長に就任して以来一貫して、市民本位の市政の推進を基本に、ふるさと向日市を21世紀に向かって人間性豊かな福祉と教育・文化の香り高い定住都市とするため、その実現に向け全力を傾注してまいったところであります。

とりわけ、平成二年度は、私にとりまして市長四期目の最終年度にあたり、公約いたしました施策の実現に向け積極的に取り組み、活力と潤いのあるふるさとづくりに、より一層まい進した次第であります。

ところで、平成二年度の我が国経済は、物価の安定基調を背景に、引続き個人消費と民間の設備投資による内需が堅調に推移し、五・七パーセントの高い実質経済成長率で景気拡大を持続したわけであります。

さて、本市を取り巻く財政環境は、このような経済の動向を反映して、歳入面では、市税や地方交付税の収入が伸びたものの、歳出面では、人件費等の義務的経費の増嵩や、市民の要請にこたえる行政需要の増加も相まって、なお引き続き厳しい状況におかれていたわけであります。

私は、かかる財政状況下において、本市の抱える課題に果敢に対処し、困難な諸条件を切り開くとともに、明日への住みよいまちづくりの施策を積極的かつ計画的に推進していくため、「不屈の決意」を新たにし、全力を傾注した次第であります。

平成二年度の施策の遂行については、

◎市民のくらしを守り、健康と福祉の向上
◎住みよい生活環境の整備
◎心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実

の3項目を行政執行の柱として、ふるさとづくりの諸施策を一層推進し、多様化する市民ニーズにこたえ、公約の実現を期したところであります。

このため、平成二年度の行財政運営にあたりましては、新たな財源確保や税収の確保を図る一方、内部的には事務事業の点検と経常経費の節減合理化に努め、効率的な行財政運営に努めてまいった次第であります。

このように、数々の事業を執行できましたことは、市民各位のご理解とご協力によるものと深く感謝をいたしております。

平成2年度の主な事業

市民のくらしを守り 健康と福祉の向上

■老人福祉■ 家庭奉仕員の派遣ニーズの増大にこたえるため、ホーム・ヘルプセンターを設置。介護者リフレッシュ事業の実施や介護手当を新設。在宅介護サービスを充実。デイ・サービスセンターに送迎用自動車を購入。

送迎用自動車を購入
（デイ・サービスセンター）

■障害者福祉■ リフト付きタクシー配置費用の負担、福祉タクシー利用対象者の拡大。要約筆記奉仕員養成講座の開催や重度肢体・視覚障害者にガイドヘルパーを派遣。

■児童福祉■ 各保育所施設の整備と保育内容を充実。無認可保育所施設運営補助の増額。

■健康づくり■ 健康教室の実施回数増加と内容を充実。成人病対策として新たに子宮体がん検診を実施。栄養士の配置や栄養指導を充実。妊婦に対する母親教室、乳幼児の健康診査や発達相談を実施。

「向日市女性のつどい」を開催

■産業振興■ 農業の経営改善と生産性向上を図るため、青空市場の設置や新害虫防除対策事業として自動薬剤散布機導入の補助。中小企業者の経営安定と育成振興を図るため、中小企業振興融資制度を充実。商業振興基礎調査や個別経営診断の実施。経済講演会の開催。観光案内板を設置。

■消防■ 消防団活動の活性化推進のため、鶏冠井、上植野地区に防災センターを建設。消防自動車や広報査察車の更新。消火器設置補助や防火水槽の整備。消防・防災フェアや防災パトロールの実施。

住みよい生活環境の整備

■道路・水路■ 平成二年度から二カ年継続事業として上植野町下川原地域の旧西国街道を、町並みの景観を配慮した「歴史の道」として整備に着手。浸水防除対策として洛西用水路西幹線や七ノ坪川1号改修など排水路の整備を推進。

■公園整備■ 枝所公園、笹屋児童公園などを整備。

■都市計画■ 久世北茶屋線の街路整備事業を促進。阪急東向日駅周辺地区の都市計画施設床需要調査の実施。北山市営住宅の建替え事業に着手。

■環境保全■ 騒音、振動、大気汚染、水質汚濁などの監視測定を強化。駅周辺放置自転車撤去業務の強化。塵芥収集車の更新。

心の豊かさをはぐくむ 教育・文化の充実

■学校教育■ 第3向陽小学校グラウンド整備。第6向陽小学校視聴覚機器の整備。勝山中学校校舎大規模改修とパソコン教室を設置

■社会教育■ 生涯学習通信や啓発冊子を発行し生涯学習の推進を図る。女性を取り巻く諸問題解決のため女性行動計画を策定し「向日市女性政策21世紀プラン」の発行、「向日市女性のつどい」を開催。物集女コミュニティセンターの建設。

物集女コミュニティセンターを建設

■図書館■ 計画的に図書を増冊。美しい本展、古典文学講座、文学散歩、音楽コンサートなどを開催。

青空市場を開催

■文化振興■ 文化的なまちづくりを推進するため、「向日市文化振興計画」を策定するとともに、向日市文化振興基金を創設。向日市美術展を開催。市民会館の大規模改修事業の実施設計。

■社会体育・スポーツ振興■ 第3向陽小学校屋外運動場に夜間照明を設置。市民温水プール建設に向け、用地の一部を取得するとともに、基本構想基礎調査を実施。

■平和・国際交流■ 広島平和記念式典へ市民代表を派遣。市民平和のつどいを開催。向日市・杭州市友好交流協議書締結5周年記念式典を開催。交換学生派遣事業の実施。

■ふるさと創生■ 星空観測所建設に向けて基本設計を実施。

勝山パソコン講座の実施